

人類生態学教室年報

2007-2008

Biennial Report of Activities in Department of Human Ecology

March, 2009

東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻
人類生態学教室

Department of Human Ecology, School of International Health,
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

目次 Contents

教育活動 (Educational Activities)		1
学部		
講義	Lectures	
実習	Exercises/Practices	
原書購読	Paper Reading	
大学院		
講義	Lectures and Exercises/Practices	
他学部での講義など	Lectures for the other Faculties	
論文		
卒業論文	Graduation Theses	
修士論文	Master's Theses	
博士論文	Doctoral Dissertations	
研究業績 (Research Activities)		13
原著論文	Original Articles	
単行本	Books and Contributions to Book	
総説・資料・他	Reviews and Other Reports	
学会発表	Presentations in Scientific Meetings	
競争的資金の獲得 (Research Projects)		22
政府系競争資金	National Research Funds	
文部科学省科学研究費補助金 (代表および分担)		
その他の省庁の科学研究費補助金		
民間財団などの研究助成金・奨学金		
人類生態学セミナー (Seminars on Human Ecology)		24
人類生態学研究会 (Meetings on Human Ecology)		25
鈴木継美先生追悼文 (Memorial writings for Professor Tsuguyoshi Suzuki)		26
教室員一覧 (Staff, Students and Visiting Researchers)		27

教育活動 Educational Activities

□学部

■講義

【解剖学】（必修－2年後期 I・II：2単位）

2007年10月－2008年1月 担当：坂井建雄（順天堂大学医学部）

木曜日：10:40-12:10

2007年

10月25日	人体はどのようなものか
11月1日	消化器
11月8日	呼吸器
11月15日	泌尿器
11月22日	生殖器
11月29日	循環系
12月6日	神経系
12月13日	骨格と筋
12月20日	上肢

2008年

1月10日	下肢
1月17日	頭部
1月24日	個体発生と系統発生
1月31日	人体を知る解剖学

2008年10月－2009年1月 担当：坂井建雄（順天堂大学医学部）

木曜日：10:40-12:10

2008年

10月16日	人体はどのようなものか
10月23日	消化器
10月30日	呼吸器
11月6日	泌尿器・生殖器
11月20日	循環系
11月27日	神経系
12月4日	骨格と筋
12月11日	上肢
12月18日	下肢

2009年

1月15日	頭部
1月22日	個体発生と系統発生
1月29日	人体を知る解剖学

【生理学】（必修－2年後期Ⅱ：2単位）

2007年12月－2008年1月 担当：佐々木誠一（茨城県立医療大学）

月曜日：13:00-16:10

2007年

12月10日 生理学の基礎，呼吸

12月17日 血液と循環

2008年

1月7日 消化と吸収，腎臓の機能

1月15日 内分泌，生殖

1月21日 神経，シナプスと筋

1月28日 神経系，感覚

2008年12月－2009年1月 担当：佐々木誠一（茨城県立医療大学）

月曜日：13:00-16:10

2008年

12月1日 生理学の基礎，呼吸

12月8日 血液と循環

12月15日 消化と吸収，腎臓の機能

2009年

1月13日 内分泌，生殖

1月19日 神経，シナプスと筋

1月26日 神経系，感覚

【薬理・毒性学】（必修－3年前期Ⅰ：2単位）

2007年4月－2007年5月

火曜日：9:00-12:10

2007年

4月10日 薬理学（1）

飯野正光（薬理Ⅰ）

4月17日 薬理学（2）

三品昌美（薬理Ⅱ）

4月24日 毒性学（1）

遠山千春（疾患生命工学センター健康環境医工学部門）

5月8日 毒性学（2）

渡辺知保

5月15日 臨床薬物動態学

鈴木洋史（薬剤部）

伊藤晃成（薬剤部）

5月22日 臨床試験について（特に循環器領域）

山崎 力（臨床疫学研究システム学講座）

5月29日 林 同文 (22世紀医療センター健康医科学創造講座)
薬のライフサイクルと調査研究
佐藤嗣道 (薬剤疫学)
久保田潔 (薬剤疫学)

2008年4月－2008年5月
火曜日：9:00-12:10
2008年

4月8日 薬理学 (1)
飯野正光 (薬理Ⅰ)
4月15日 薬理学 (2)
三品昌美 (薬理Ⅱ)
4月22日 毒性学 (1)
遠山千春 (疾患生命工学センター健康環境医工学部門)
毒性学 (2)
渡辺知保
5月13日 薬のライフサイクルと調査研究
佐藤嗣道 (薬剤疫学)
久保田潔 (薬剤疫学)
5月20日 循環器・生活習慣病領域の臨床試験について
山崎 力 (臨床疫学研究システム学講座)
森田啓行 (22世紀医療センター健康医科学創造講座)
5月27日 臨床薬物動態学
鈴木洋史 (薬剤部)
伊藤晃成 (薬剤部)

【人類生態学】 (必修－3年前期Ⅱ：2単位)

2007年6月－2007年7月
火曜日：9:00-12:10
2007年

6月5日 概論 (1) 栄養適応／生理適応・環境をつくる人間
渡辺知保
6月12日 概論 (2) 行動適応・文化的適応
梅崎昌裕
6月19日 グループワーク
教員全員
6月26日 人類生態学の最近の話題 (1)
渡辺知保
7月3日 人類生態学の最近の話題 (2)
梅崎昌裕

- 7月10日 人類生態学の最近の話題 (3)
清水華・福山祥子
- 7月17日 グループワークの発表と全体討論
教員全員

2008年6月－2008年7月
火曜日：9:00-12:10
2008年

- 6月3日 概論 (1) 生態系の中の人間／栄養の生態学,
疾病の生態学
渡辺知保
- 6月10日 概論 (2) 人類の起源と進化, 生業と社会
梅崎昌裕
- 6月17日 グループワーク
教員全員
- 6月24日 概論 (3) 持続可能性と人類生態学
トピックス (1) 人間活動と環境汚染の生態学
渡辺知保
- 7月1日 トピックス (2) 途上国でのフィールド研究
梅崎昌裕
- 7月8日 トピックス (3) 配偶者選択と遺伝子, 生体内に
蓄積された金属
清水華
- トピックス (4) 日本における少子化の生物学的
背景
福山祥子
- 7月15日 グループワーク：発表
教員全員

【環境保健学】 (選択－3年後期 I：2単位)

2007年10月－2007年12月
金曜日：9:00-12:10
2007年

- 10月26日 環境保健学とはどんな学問か？
次世代影響とその評価法／感受性の個体差はなぜ生ずるか？
渡辺知保
- 11月2日 環境リスクアセスメント／疾病適応論：マラリアを題材にして
中澤 港 (群馬大学)

- 11月9日 重金属および有機溶剤による産業中毒事例とその予防対策
吉田 稔 (八戸大学)
- 11月16日 大気汚染とその健康影響
新田裕史 (国立環境研究所)
- 11月30日 環境有害化学物質の毒性発現メカニズムと健康リスク評価
大迫誠一郎 (疾患生命工学センター)
- 12月7日 鉛曝露とその健康影響 (英語)
吉永 淳 (新領域創成科学研究科)

2008年10月－2008年12月

金曜日：9:00-12:10

2008年

- 10月24日 環境保健学のスコープ／現在の課題
渡辺知保
- 10月31日 環境有害化学物質の毒性発現メカニズムと健康リスク評価
大迫誠一郎 (疾患生命工学センター)
- 11月7日 重金属および有機溶剤による産業中毒事例とその予防対策
吉田 稔 (八戸大学)
- 11月14日 人と自然の共生からみた地域生態系健康論
本郷哲郎 (山梨県環境科学研究)
- 11月21日 環境リスクアセスメント／疾病適応論：マラリアを題材にして
中澤 港 (群馬大学)
- 11月28日 大気汚染とその健康影響
新田裕史 (国立環境研究所)

【人口学】(選択－3年後期Ⅱ：1単位)

2007年12月－2008年2月

月曜日：16:20-17:50

2007年

- 12月10日 形式人口学 (1) 人口構造の分析
福山祥子
- 12月17日 形式人口学 (2) 死亡の分析
梅崎昌裕

2008年

- 1月15日 形式人口学 (3) 出生の分析

- 梅崎昌裕
- 1月21日 アラブ・イスラム社会の出生規範：ヨルダンの事例
- 末吉秀二（吉備国際大学）
- 1月28日 数理モデルによる人口分析
- 中澤 港（群馬大学）
- 2月4日 途上国の人口問題
- 梅崎昌裕

2008年12月－2009年2月

月曜日：16:20-17:50

2008年

- 12月8日 人口構造の分析
- 梅崎昌裕
- 12月15日 出生力の分析
- 梅崎昌裕
- 12月22日 死亡率の分析
- 梅崎昌裕

2009年

- 1月19日 アラブ・イスラム社会の出生規範：ヨルダンの事例
- 末吉秀二（吉備国際大学）
- 1月26日 数理モデルによる人口分析
- 中澤 港（群馬大学）
- 2月2日 途上国の人口問題
- 梅崎昌裕

【環境工学・人間工学】（選択－4年前期 I：2単位）

2007年4月－2007年5月

木曜日：9:00-12:10

2007年

- 4月12日 有害物質の管理
- 福土謙介（サステイナビリティ学連携研究機構）
- 4月19日 土壌・地下水汚染とそのバイオレメディエーション
- 栗栖 太（水環境制御研究センター）
- 4月26日 Ecological Momentary Assessment の臨床応用
- 熊野宏昭（ストレス防御・心身医学）
- 5月10日 医用工学：生体計測と生体制御
- 磯山 隆（医用生体工学）

- 5月17日 都市空間心理工学
浅見泰司 (空間情報科学研究センター)
- 5月24日 ナノテクノロジーが拓く未来医療
片岡一則 (疾患生命工学センター)
- 5月31日 病原微生物と上下水道
片山浩之 (工・都市工学)

2008年4月－2008年5月

木曜日：9:00-12:10

2008年

- 4月10日 有害物質の管理
福士謙介 (サステイナビリティ学連携研究機構)
- 4月17日 ナノテクノロジーが拓く未来医療
片岡一則 (疾患生命工学センター)
- 4月24日 医用工学：生体計測と生体制御
磯山 隆 (医用生体工学)
- 5月8日 Ecological Momentary Assessment の臨床応用
熊野宏昭 (ストレス防御・心身医学)
- 5月15日 都市空間心理工学
浅見泰司 (空間情報科学研究センター)
- 5月22日 土壌・地下水汚染とバイオレメディエーション
栗栖 太 (水環境制御研究センター)

【国際保健学】 (選択－4年前期 I：2単位)

2007年4月－2007年5月

木曜日：13:00-16:10

2007年

- 5月10日 食と栄養の生態学
梅崎昌裕
途上国の環境保健問題と人類生態学
渡辺知保

2008年4月－2008年5月

木曜日：13:00-16:10

2008年

- 5月8日 環境と健康：途上国における問題
渡辺知保
梅崎昌裕

■実習

2007年6月

環境保健学実習（選択－4年前期Ⅱ：2単位）

2008年6月

環境保健学実習（選択－4年前期Ⅱ：2単位）

2007年10月

保健学実験・検査法実習：「環境化学」（必修－3年前期Ⅲ：3単位）

2008年10月

保健学実験・検査法実習：「環境化学」（必修－3年前期Ⅲ：3単位）

■原書講読

2007年

清水華

Text : Cockburn, I.A., Mackinnon, M.J., O'Donnell, A., Allen, S.J., Moulds, J.M., Baisor, M., Bockarie, M., Reeder, J.C. and Rowe, J.A. (2004) A human complement receptor 1 polymorphism that reduces Plasmodium falciparum rosetting confers protection against severe malaria. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 101(1): 272-277.

Text : Leslie, E.M., Liu, J., Klaassen, C.D. and Waalkes, M.P. (2006) Acquired cadmium resistance in metallothionein-I/II(-/-) knockout cells: role of the T-type calcium channel Cacnalpha1G in cadmium uptake. *Molecular Pharmacology*, 69(2): 629-639.

福山祥子

Text : Henriksen, T.B., Hjollund, N.H., Jensen, T.K., Bonde, J.P., Andersson, A.M., Kolstad, H., Ernst, E., Giwercman, A., Skakkebaek, N.E. and Olsen, J. (2004) Alcohol consumption at the time of conception and spontaneous abortion. *American Journal of Epidemiology*, 160: 661-667.

Text : Nepomnaschy, P.A., Welch, K.B., McConnell, D.S., Low, B.S., Strassmann, B.I. and England, B.G. (2006) Cortisol levels and very early pregnancy loss in humans. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 103: 3938-3942.

2008年

福山祥子

Text : Weinberg, C.R. and Wilcox, A.J. Methodologic Issues in Reproductive Epidemiology. In *Modern Epidemiology* 3rd edition. Edited by Rothman, K.J., Greenland, S. and Lash, T.L. Philadelphia, Lippincott Williams & Wilkins.

□大学院

■講義

【Human Ecology I (人類生態学特論 I)】

May to June, 2007

- | | |
|---------|--|
| May 11 | Basics of Human Ecology
C. Watanabe |
| May 18 | Food consumption, nutrition, and environment
C. Watanabe |
| May 25 | Methodologies of data collection in the field
M. Umezaki |
| June 8 | Long-term change of adaptation
M. Umezaki |
| June 15 | Chemicals: is it good or bad for human survival?
C. Watanabe |
| June 22 | Transition of Culture and Adaptation of <i>Jino</i> ethnic group in Yunnan, China
T. Abe (Meiji University) |

May to June, 2008 [reading assignment]

- | | |
|---------|---|
| May 9 | Environmental Risk
C. Watanabe |
| May 16 | Ecology of nutrition
C. Watanabe |
| May 23 | Ecology of diseases
C. Watanabe |
| May 30 | Human Evolution, Life History, and Diseases
K. Moji (Research Institute for Humanity and Nature) |
| June 6 | Methodologies of ecological anthropology
M. Umezaki |
| June 13 | Political Ecology
M. Umezaki |
| June 20 | Human Biology
C. Watanabe |

【Human Ecology II (人類生態学特論 II)】

November to December, 2007

- | | |
|------------|---|
| November 9 | Essentiality and toxicity of metal [reading assignment]
S. Himeno (Tokushima Bunri University) |
|------------|---|

- November 16 Health change in the Asia-Pacific region [reading assignment]
T. Inaoka (Saga University)
- November 30 Chimpanzees as our "neighbors": wildlife conservation practices in West African socio-cultural landscapes [lecture]
G. Yamakoshi (Kyoto University)
- December 07 Environmental lead (Pb) exposure and health consequence: emphasizing historical and geographical aspects in Japan [lecture]
J. Yoshinaga (Graduate School of Frontier Sciences)

November to December, 2008

- November 7 Heavy metals in our environment: exposure level, source, and health risk [lecture]
J. Yoshinaga (Graduate School of Frontier Sciences)
- November 14 Bioindicators of POPs -- monitoring in developing countries [reading assignment]
S. Himeno (Tokushima Bunri University)
- November 28 Western diseases: an evolutionary perspective [reading assignment]
T. Inaoka (Saga University)
- December 5 Chimpanzees as our "neighbors": Wildlife conservation practices in West African socio-cultural landscapes [lecture]
G. Yamakoshi (Kyoto University)

□他学部での講義など **Lectures for the other Faculties**

【日本・アジア学講座(ASNET)】

2007年5月－6月 (金曜 1・2限)

“Human Ecology-with Emphasis on Asia and Oceania”
C. Watanabe and M. Umezaki

2008年5月－6月 (金曜 1・2限)

“Human Ecology-with Emphasis on Asia and Oceania”
C. Watanabe and M. Umezaki

2008年10月24日

「南アジアにおける井戸水の大規模汚染：人類生態学から見た問題点」 渡辺知保 (平成20年度講義『アジアにおける水環境問題：日本の経験の共有化の可能性』)

□論文

■卒業論文 **Graduation Theses**

2007 年度

井上陽介

日本における出生性比の地理的不均一性：市区町村データを用いた空間統計学分析

小泉 純

インターネットを使った消費者向け医療情報サービスの実態調査

島谷憲太郎

胎仔期・授乳期におけるダイオキシン曝露が発達期のラットの高次脳機能に及ぼす影響

2008 年度

坂下 舞

健康な20代女性において体重・食事の記録行動が体重に及ぼす影響

■修士論文 **Master's Theses**

2007 年度

新城梨奈子

Change in Body Image and dietary patterns of Japanese female students shortly after moving to New York City

水上知弘

Evaluation of urinary trace elements in five villages in West Java, Indonesia

柴田敏幸

Establishment of new methodology of laser microdissection to quantify gene expression and its application to neurotoxicology of methylmercury

松本エミールイーズ^{明子}

Seasonal difference of major/trace nutrient status and exposure levels of hazardous elements among adults and children of rural West Java, Indonesia

2008 年度

Cindy Chia-Jung Chen Evaluation of seasonal stress in female Taiwanese migrants in Vancouver, Canada, using salivary cortisol level

Erica Takane Biomonitoring of urinary levels of elements in five Nepali communities with diverse ecological settings: Evaluation of nutritional status and exposure to metals

Nayar Sultana Evaluation of oxidative stress induced by inorganic arsenic among the oral contraceptive pill users and non-users in arsenic-contaminated area of Bangladesh

吉田奈穂 Association between arsenic metabolism and genetic polymorphisms in *CSTII* and *GSTM1* gene among arsenic-exposed population in Bangladesh

■博士論文 **Doctoral Dissertations**

2008 年度

Linda Dewanti The cord blood levels of heavy metals and trace elements and their relationship with immune functions of mononuclear cells in the babies born in Surabaya, Indonesia

研究業績 **Research Activities**

□原著論文 **Original Articles**

Andoh, S.Y., Umezaki, M., Nakamura, K., Kizuki, M. and Takano, T. (2007) Association of household demographic variables with child mortality in Cote d'Ivoire. *Journal of biosocial Science*, 39: 257-265.

Fukuyama, S., Watanabe, C., Umezaki, M. and Ohtsuka, R. (2009) Twenty years' demographic change in sedentes and migrants of an international migrant-sending community in Tonga. *Journal of Biosocial Science*, 41(1): 77-87.

Hirano, M., Kitamura, K., Kato, I., Yanaihara, C., Iwamoto, K., Sekiyama, M., Watanabe, C., Nakamoto, T., Miyamoto, N., Onishi, Y. and Arizono, K. (2008) Development of enzyme immunoassay for detection of DDT. *Journal of Environmental Science and Health, Part A*, (2008) 43: 44-49.

Ikegaya, H., Zhong, S., Shimizu, H., Sekiyama, M., Soemantri, AG., Ishida, T., Nakazawa, M., Ohtsuka, R., Takasaka, T., Shibuya, A., Kitamura, T., and Yogo, Y. (2008) The pacific lineage (2E) of JC polyomavirus is prevalent in Sumba island, Eastern Indonesia. *Anthropological Science*, 116(2): 183-186.

Ishitobi, H., Mori, K., Yoshida, K. and Watanabe, C. (2007) Effects of perinatal exposure to low-dose cadmium on thyroid hormone-related and sex hormone receptor gene expressions in brain of offspring. *Neurotoxicology*, 28: 790-797.

Kondo, K., Lee, JS., Kawakubo, K., Kataoka, Y., Asami, Y., Mori, K. and Umezaki, M. (2009) Association between daily physical activity and neighborhood environments. *Environmental Health and Preventive Medicine* (in press)

黒木匡, 山内太郎, 萩原潤, 佐々木久美子, 渡辺知保 (2007) 離島に居住する男性高齢者の身体活動一連続7日間の加速度モニタリング。民族衛生, 73(4): 127-136.

Maharjan, M., Roshan, R., Shrestha, A., Ahmad, SA., Watanabe, C. and Ohtsuka, R. (2007) Prevalence of Arsenicosis in Terai, Nepal. *Journal of Health Population and Nutrition*, 24(2).

Maharjan, M., Watanabe, C., Ahmad, S.A., Umezaki, M. and Ohtsuka, R. (2007) Mutual interaction between nutritional status and chronic arsenic toxicity due to groundwater contamination in an area of Terai, lowland Nepal. *Journal of Epidemiology and Community Health*, 61: 389-394.

Mean-Heang, N.G.Y., Nakamura, K., Ohnishi, M., Kizuki, M., Suyama, S., Seino, K., Inose, T., Umezaki, M., Watanabe, M. and Takano, T. (2007) Improved perinatal health through qualified antenatal care in urban Phnom Penh, Cambodia. *Environmental Health and Preventive Medicine*, 12: 193-201.

Mori, K., Yoshida, K., Nakagawa, Y., Hoshikawa, S., Ozaki, H., Ito, S. and Watanabe, C. (2007) Methylmercury inhibition of type II5'-deiodinase activity resulting in a decrease in growth hormone production in GH3 cells. *Toxicology*, 237: 203-209.

Otani-Kaneko, R., Tazawa, H., Yokosuka, M., Yoshia, M., Satoh, M. and Watanabe, C. (2008) Suppressive effects of cadmium on neurons and affected proteins in cultured developing cortical cells. *Toxicology*, 253: 110-116.

Parajuli, R.P., Umezaki, M. and Watanabe, C. (2008) Behavioral and Nutritional Factors and Geohelminth infection among Two Ethnic Groups in the Terai Region, Nepal. *American Journal of Human Biology*, 21: 98-104.

Sekiyama, M., Tanaka, M., Gunawan, B., Abdoellah, O. and Watanabe, C. (2007) Pesticide Usage and Its Association with Health Symptoms among Farmers in Rural Villages in West Java, Indonesia. *Environmental Sciences*, 14: 23-34.

卯田宗平 (2008) 生業環境の変化への二重の対応—中国・ポーヤン湖における鵜飼漁師たちの事例から—。文化人類学, 73(1): 1-24.

卯田宗平 (2008) ウを飼い馴らす技法—中国・鵜飼漁におけるウの馴化の事例から—。日本民俗学, 254: 85-112.

Umezaki, M., Sengebau-Kinzio, J.M., Ridep, E., Sikyang, B., Ngiruchelbad, D., Tadao, R., Watanabe, M., Nakamura, K. and Takano, T. (2007) Microbiological safety of ready-to-eat foods in Republic of Palau. *Pacific Health Dialog*, 12: 38-42.

Umezaki, M., Sengebau-Kinzio, J.M., Nakamura, K., Ridep, E., Watanabe, M. and Takano, T. (2007) Household risk factors associated with dengue-like illness, Republic of Palau, 2000-2001. *BioScience Trends*, 1: 33-37.

Watanabe, C., Matsui, T., Inaoka, T., Kadono, T., Miyazaki, K., Bae, M.J., Ono, T., Ohtsuka, R., Mozammel, A.T.M. Bokul, H. (2007) Dermatological and Nutritional/growth Effects among Children Living in Arsenic-contaminated Communities in Rural Bangladesh. *Journal of Environmental Science and Health, Part A*, 42: 1835-1841.

Yokosuka, M., Ohtani-Kaneko, R., Yamashita, K., Muraoka, D., Kuroda, Y. and Watanabe, C. (2008) Estrogen and environmental estrogenic chemicals exert developmental effects on rat hypothalamic neurons and glias. *Toxicology in Vitro*, 22: 1-9.

Yoshida, M., Shimizu, N., Suzuki, M., Watanabe, C., Satoh, M., Mori, K. and Yasutake A. (2008) Emergence of methylmercury toxicity long after perinatal exposure in metallothionein-null and wild-type C57BL mice strains. *Environmental Health Perspectives*, 116: 746-751.

Zhou, H., Watanabe, C. and Ohtsuka, R. (2007) Impacts of dietary intake and helminth infection on diversity in growth among schoolchildren in rural south China: a four-year longitudinal study. *American Journal of Human Biology*, 19: 96-106.

□単行本 **Books and Contributions to Books**

印東道子，梅崎昌裕，中澤港，遠藤央，窪田幸子，菊澤律子（編著）（印刷中）
『オセアニア学』京都大学学術出版会.

Umezaki M. (in press) Adaptive Strategies of Huli Migrant Settlers. Goddard M. (ed.)
Villagers in the City: Melanesian Experiences of Port Moresby, Papua New Guinea.
Sean Kingston Press.

梅崎昌裕（印刷中）「人間の生態と適応，病と西欧化」片山一道・熊谷圭知（編著）
『朝倉世界地理講座第15巻：オセアニア』朝倉書店.

梅崎昌裕（印刷中）「生態人類学とGIS」水嶋司・柴山守（編著）『地域研究の
ためのGIS入門』古今書院.

梅崎昌裕（2007）『ブタとサツマイモ：自然のなかに生きるしくみ』小峰書店.

梅崎昌裕（2007）「パプアニューギニア高地農耕の持続性をささえるもの：タ
リ盆地における選択的植樹と除草」河合香（編著）『生きる場の人類学』京都
大学出版会.

梅崎昌裕（2007）「人間らしい食生活の起源」尾岸恵三子・正木治恵（編著）
『食看護学』医歯薬出版株式会社, pp.23-26.

小西祥子（印刷中）「海外移住の人口学」印東道子，梅崎昌裕，中澤港，遠藤央，
窪田幸子，菊澤律子（編著）『オセアニア学』京都大学学術出版会.

蔣宏偉，梅崎昌裕（印刷中）「市場経済化する中国農村の土地利用変化」水嶋司・
柴山守（編著）『地域研究のためのGIS入門』古今書院.

□総説・資料・他 **Reviews and Other Reports**

梅崎昌裕 (2008) 「辞典」のない世界で生きるということ：パプアニューギニア調査の経験. *コミュニティ* 141: 82-84.

Umezaki, M. (2008) Book Review: Ohtsuka R and Ulijaszek S (eds.) *Health Change in the Asia-Pacific Region: Biocultural and Epidemiological Approaches*. Cambridge University Press. *People and Culture in Oceania*, 23: 99-101.

梅崎昌裕 (2007) 「食物タブー」「生態系」「人類学」「食物連鎖」 日本栄養・食糧学会編 『栄養・食糧学用語辞典』建帛社.

梅崎昌裕 (2007) おかず畑としての水田：海南島リーの水田周辺雑草利用. *水と生業* 3: 13-16.

蒋宏偉 (印刷中) 「生活の豊かさと青い山を求めて－中国海南島からの報告」 天地人.

渡辺知保 (2008) 有限の地球における生態と健康. *民族衛生*, 74(4): 159-160.

渡辺知保 (2008) “持続可能な社会” への適応. *TIGS-News*, vol.3

□学会発表 **Presentations in Scientific Meetings**

陳家蓉, 梅崎昌裕, 古澤華, 福山祥子, 渡辺知保 : Cortisol and estradiol level related to the seasonal stress among female Taiwanese immigrant in Vancouver, Canada. 第 73 回日本民族衛生学会総会. 2008, 横浜.

福山祥子, Parajuli, R.P., Takane, E., 蔣宏偉, 梅崎昌裕, 渡辺知保 : ネパール人女性の再生産に関わる変数の地域差. 第 73 回日本民族衛生学会総会. 2008, 横浜.

Fukuyama, S., Umezaki, M. and Watanabe, C.: Levels and Sources of energy and nutrient intake among Tongan adults. The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH). 2007, Sakato.

松本エミリー, 清水華, 関山牧子, 蔣宏偉, Gnawan, B., Abdoellah, O., Akbal, I., 渡辺知保 : インドネシア西ジャワ州農村の成人および小児における尿中微量元素と金属の日間・季節間変動. 第78回日本衛生学会総会. 2008, 熊本.

Mexitalia, M., Yamauchi, T., Shimizu, H., Susanto, JC. and Soemantri, AG.: The risk factors of body fatness and high blood pressure on adolescent obesity. XI International Congress of Auxology. 2007, Tokyo.

永野恵, Barek, A., 清水華, 稲岡司, Ahmad. S.A., 松原智恵子, Sultana, N., 吉田奈穂, 渡辺知保 : バンクラデシュ地下水汚染地域における BAMWSP (国家砒素対策水供給プロジェクト) 後の住民の行動変容—ダッカ近郊農村の事例. 第 79 回日本衛生学会総会. 2009, 東京.

Parajuli, R.P., Umezaki, M., Sekiyama, M. and Watanabe, C.: Socio-Economic status, dietary intake, helminthiasis, and their relation with nutritional status of Mushar in lowland Terai, Nepal. The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH). 2007, Sakato.

Sekiyama, M., Roosita, K., Ohtsuka, R. and Watanabe, C.: Snack consumption among children in rural Indonesia under nutrition transition. The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH). 2007, Sakato.

関山牧子, 蔣宏偉, 渡辺知保 : インドネシア農村部における化学物質の導入と人々の認識. 第 77 回日本衛生学会総会. 2007, 大阪.

Shimizu, H., Matsumoto, E., Sekiyama, M., Akbar, I., Gnawan, B., Jiang, HW., Inaoka, T. and Watanabe, C.: Analysis for 12 trace elements in urine among different ethnic groups of Asian populations. 4th International Conference on Metals and Genetics. 2008, Paris (France).

Shimizu, H., Ishida, T., Soemantri, A.G. and Ohtsuka, R.: Quantification of co-infection with two Plasmodium species by real-time PCR. XVIIth International Congress for Tropical Medicine and Malaria. 2008, Jeju (Korea).

Shimizu, H., Yoshida, N., Matsumoto, E., Sekiyama, M., Gnawan, B., Abdoellah, O., Akbal, I., Lam, TD., Phan, T., Hung, LN., Ikemoto, Y., Ahmad, SA., Inaoka, T., Watanabe, C.: Health status evaluated by urinary trace elements among various populations in Indonesia, Bangladesh, and Vietnam. Philippines-Japan International Symposium on Urban-Rural Environmental Sustainability and Socioeconomic Development. 2009, Laoag (Philippines).

清水華, 松本エミリー, 陳家蓉, Takane, E., 関山牧子, Gunawan, B., 蔣宏偉, 稲岡司, 渡辺知保: 生態学的条件の異なるアジア諸集団の尿中 13 元素およびストレスマーカーの定量分析. 第 78 回日本衛生学会総会. 2008, 熊本.

清水華, Phan, T., Lam, TD., Hung, L.N., 池本幸生, 田中美加, 新江利彦, 蔣宏偉, 渡辺知保: ベトナムにおける尿中痕跡元素を用いた健康リスク評価. 第 79 回日本衛生学会総会. 2009, 東京.

Shinjo, R. and Watanabe, C.: Change in body image and dietary patterns of Japanese female students shortly after moving to New York City. 10th International Congress on Behavioral Medicine. 2008, Tokyo.

蔣宏偉: 中国海南島ポーレー村に居住する人びとの活動パターン—小型 GPS 及び加速時計を併用した生活時間調査. 第 72 回日本民族衛生学会総会. 2007, 富山.

蔣宏偉: 小型 GPS と加速時計をもちいた人間の行動評価の試み. 日本生態人類学会. 2009, 山梨.

Sultana, N., 渡辺知保, 古澤華, 梅崎昌裕, 稲岡司: Evaluation of oxidative stress by inorganic arsenic and oral contraceptive pill among the females in arsenic contaminated area of Bangladesh. 第 73 回日本民族衛生学会総会. 2008, 横浜.

Sultana, N., 渡辺知保, 清水華, 梅崎昌裕, 稲岡司 : 飲料水を介した砒素曝露と女性の尿中 8-isoprostane および 8-OhdG 濃度. 第 79 回日本衛生学会総会. 2009, 東京.

Takane, E., 福山祥子, 古澤華, Parajuli, R.P., 梅崎昌裕, 渡辺知保 : Urinary trace element levels in five communities in Nepal: evaluation of micronutrient status and exposure to metals. 第 73 回日本民族衛生学会総会. 2008, 横浜.

田中美加, 清水華, 渡辺知保 : ベトナム農村部における生業形態の転換と QOL. 第 28 回日本看護科学学会学術集会. 2008, 福岡.

Umezaki, M.: Impact of Population Pressure on Food Production in Papua New Guinea Highlands. 21st Pacific Science Congress. 2007, Naha.

Watanabe, C.: Evaluation and alleviation of environmental burden due to economic development in Asian rural areas. International Conference on Emerging Issues on Research and Development. 2007, Kathmandu (Nepal).

Watanabe, C.: Role of Japanese Universities alumuni in nation building (Panel) . International Conference on Emerging Issues on Research and Development. 2007, Kathmandu (Nepal).

Watanabe, C.: Session - “Life” (moderator). University of Tokyo International Symposium, “Dialogue with Asia on Hope and Happiness”. 2007, Tokyo.

Watanabe, C. Human health and adaptation in a sustainable world. “In search for sustainable well-being” International Conference on Science and Technology for Sustainability. 2008, Tokyo.

Watanabe, C., T. Inaoka, R. Islam, H. Ishitobi , K. Tagami, J. Yoshinaga, A Ahmad, Z Hossein, M.H. Faruquee, M.H. Bokul , M. Maharjan and R. Ohtsuka. Relevance of nutritional status to the toxicity of arsenic in south Asian countries. 9th International Conference on Nuclear Analytical Methods in the Life Sciences. 2008, Lisbon (Portugal).

Watanabe, C., Islam, R., Inaoka, T., Yoshinaga, J., Tagami, K.: Arsenic exposure and nutritional status in communities in Bangladesh. Second meeting of IAEA-Coordinated Research Project meeting. 2007, Wien (Austria).

渡辺知保 : 持続可能性における “現在” の位置. 将来社会を俯瞰した研究開発ビジョン研究会. 2008 年, 東京.

渡辺知保, 関山牧子: 西ジャワ農村における化学物質を巡る問題. 地球環境研究所ワークショップ『資源・食・健康からみた「人間の安全保障」』2007, 京都.

渡辺知保: アジアの健康とサステナビリティ. 第10回東京大学 AGS サステナビリティ戦略セミナー. 2008年, 東京.

Watanabe, C., Sekiyama, M., Tanaka, M., Gunawan, B., Akbal, I. and Abdoellah, O.: Several Issues Associated with Pesticide Usage among Farmers in Rural Communities located in the watershed of Citarum river, Indonesia. Toward Harmonization between Developmental and Environmental Conservation in Biological Production (JSPS-DGHE Core University Program in Applied Biosciences) 2008, Tokyo.

渡辺知保, 梅崎昌裕, 有菌幸司, 関山牧子, Gunawan, B., Abdoellah, O., 清水華, 蔣宏偉, Akbal, I., 新村哲夫, 中崎美峰子, 松本エミリー: アジア諸国農村部における生業転換にともなう化学物質の導入と曝露; ENVRERA 研究. 第78回日本衛生学会総会. 2008年, 熊本.

Yoshida, M., Watanabe, C., Satoh, M., and Yasutake, A. Emergence of methylmercury toxicity long after a perinatal exposure in metallothionein-null and its wild type-type C57BL mice strains. Society of Toxicology 47th Annual meeting, 2008, Seattle (USA).

Yoshida, M., Watanabe C., Satoh, M., Mori, K., Yoshida, K., and Yasutake, A. Latency period of methylmercury toxicity after perinatal exposure in mice. 25th International Neurotoxicology Conference, 2008, Rochester (USA).

吉田奈穂, 馬淵昭彦, 木村亮介, 稲岡司, 永野恵, 松村康弘, Ahmad, S.A., 渡辺知保, 徳永勝士: バングラディッシュにおける井戸水由来無機砒素曝露と *GSTM1*, *GSTT1* 遺伝子欠失型多型との関連検討. 日本人類学会大会. 2008, 名古屋.

吉田奈穂, 馬淵昭彦, 木村亮介, 稲岡司, Bokul, H., 渡辺知保, 徳永勝士: バングラディッシュの砒素汚染地域における井戸水由来無機砒素代謝と *GSTM1*, *GSTT1* 欠失型多型との関連の検討. 第79回日本衛生学会総会. 2009年, 東京.

競争的資金の獲得 **Research Projects**

□政府系競争資金 **National Research Funds**

■文部科学省科学研究費補助金（代表および分担）

基盤研究（A）「インドネシア西ジャワ農村部における地域の持続可能性と健康」（代表：渡辺知保）2008年度－2012年度

基盤研究（A）（一般）「居住地域環境が日常身体活動・行動に及ぼす影響に関する調査研究」（分担：梅崎昌裕，代表：李延秀＜東京大学＞）2008年度－2011年度

基盤研究（B）（海外学術）「西ジャワ農村部における水系の化学物質汚染と学童の健康に関する人類生態学的調査」（代表：渡辺知保）2005年度－2007年度

基盤研究（B）（一般）「東南アジア大陸部における土地利用変化のメカニズム-フィールドワークとRSの結合」（分担：梅崎昌裕，代表：河野泰之＜京都大学＞）2006年度－2009年度

基盤研究（B）（一般）「最新の空間情報科学技術を用いた土地利用分析法の確立」（代表：梅崎昌裕）2008年度－2011年度

基盤研究（C）（一般）「シナプス形成に及ぼすステロイドホルモンの non-genomic な作用と作用機序」（分担：渡辺知保，代表：金子（大谷）律子＜東洋大学＞）2005年度－2007年度

基盤研究（C）（一般）「胎生期の低濃度の複合水銀曝露による神経行動毒性に対する加齢及び遺伝的要因の影響」（分担：渡辺知保，代表：吉田稔＜八戸大学＞）2006年度－2007年度

基盤研究（C）（一般）「子どもの肥満とライフスタイル」（分担：渡辺知保，代表：山内太郎＜北海道大学＞）2008年度－2010年度

萌芽研究 「作用点が複数ある低用量化学物質の毒性の解析法」（代表：渡辺知保，分担：清水華）2006年度－2007年度

若手研究（B）「人口増加にともなう適応機構の変容：パプアニューギニア高地における調査研究」（代表：梅崎昌裕）2006年度－2007年度

若手研究 (B) 「遺伝的・免疫学的なマラリアへの適応メカニズムに関する研究」
(代表：清水華) 2006 年度－2007 年度

若手研究 (B) 「国家政策への地域住民の「適応」：中国・海南島山岳部における
開発と環境保護」(代表：蔣宏偉) 2007 年度－2008 年度

特別研究員奨励費 (国内) 「中国長江流域における淡水資源の利用と管理，分配
に関する比較環境史研究」(代表：卯田宗平) 2008 年度

■ その他の省庁の科学研究費補助金

環境省地球環境研究総合推進費プロジェクト「アジア地域における経済発展に
よる環境負荷評価及びその低減を実現する政策研究」(代表：渡辺知保，サブグ
ループ代表：梅崎昌裕) 2006 年度～2008 年度

食品安全委員会食品健康影響評価技術研究課題「メチル水銀とダイオキシンの
複合曝露による次世代の高次機能のリスク評価手法」(分担：渡辺知保，代表：
遠山千春<東京大学>) 2006 年度－2008 年度

食品安全委員会食品健康影響評価技術研究課題「日本人小児の鉛曝露とその健
康リスクに関する研究」(分担：渡辺知保，代表：吉永淳<東京大学>) 2008 年
度－2010 年度

(独) 科学技術振興機構 地球規模課題対応国際科学技術協力事業「熱帯地域
に適した水再利用技術の研究開発」(分担：渡辺知保，代表：山本和夫<東京大
学>) 2008 年度－2012 年度

東京大学 AGS 研究助成「アジア農村地域における市場経済化にともなう化学物
質の導入・使用とその健康影響」(代表：梅崎昌裕，分担：渡辺知保) 2008 年度

東京大学 AGS 研究助成「アジア農村地域における市場経済化と化学物質曝露の
相互関連性」(代表：梅崎昌裕，分担：渡辺知保) 2007 年度

□ 民間財団などの研究助成金・奨学金

トヨタ財団研究助成「中国農村部における環境保護と住民生活改善の両立の可
可能性」(代表：蔣宏偉) 2006 年度

人類生態学セミナー **Seminars on Human Ecology**

Dr. Robin Hide (Visiting Fellow, Department of Anthropology and Resource Management in Asia-Pacific Program, Australian National University)

Magapodes in New Guinea cultures: material and mystical relations. Plants and people in New Guinea: a review of work in ethnobotany, January 13th 2007.

人類生態学研究会 Meetings on Human Ecology

第 21 回 (2007 年 5 月 26 日)

Rajendra Prasad Parajuli (人類生態学教室)

食物摂取, 蠕虫病, および社会経済状況からみたネパール低地テライに
居住するムシャ族の栄養状態

梅崎昌裕 (人類生態学教室)

人類生態学における空間情報科学の意味について

翠川裕 (鈴鹿医療科学大学)

ラオスにおけるサルモネラ感染の現状—柑橘抽出デバイスを用いた新
サルモネラ検出法を用いて

姫野誠一郎 (徳島文理大学)

金属毒性研究へのトキシコゲノミクスの活用

大塚柳太郎 (国立環境研究所)

研究計画の発想

第 22 回 (2008 年 6 月 14 日)

鈴木庄亮、竹本泰一郎、大塚柳太郎、本郷哲郎

鈴木継美先生を偲んで

宇田宗平 (日本学術振興会/人類生態学教室特別研究員)

漁業環境の変化と鵜飼い漁撈民の対応—中国・江西省ポーヤン湖の事例
から—

新城梨奈子 (人類生態学教室)

ニューヨーク市の日本人女子留学生における身体イメージと食事パター
ンの渡米直後の変化

大場 保 (ブルーエコロジーリサーチ)

第一の出生力転換に対する $r - K$ 戦略遺伝子仮説

今井秀樹, 小宇田智子 (宮崎大学医学部社会医学講座衛生学分野)

トリメチルスズ投与によるラットの記憶障害に対するルチンの保護効
果とその作用機序

鈴木継美先生 追悼文 Memorial writings for Professor Tsuguyoshi Suzuki

「故 鈴木継美先生を偲ぶ」

鈴木庄亮 日本衛生学雑誌 2008年 63巻4号 697-698頁

「故 鈴木継美先生のご逝去を悼む」

大塚柳太郎 民族衛生 2008年 74巻4号 162-163頁

「鈴木継美先生を偲ぶ」

渡辺知保 保健学同窓会ニューズレター 2008年 No.30 10-11頁

「故 鈴木継美先生を偲んで」

柏崎浩 日本栄養・食糧学会誌 2008年 61巻6号 S49-50頁

「鈴木継美先生のご逝去を悼む」

大塚柳太郎 環境科学会誌 2008年 21巻4号 359頁

「(特集) 鈴木継美氏追悼」

生態人類学会ニューズレター 2008年 No.14 別冊

教室員一覽 Staff, Students and Visiting Researchers

名誉教授

鈴木継美 (2008年5月ご逝去)
大塚柳太郎

教授

渡辺知保

准教授

梅崎昌裕

非常勤講師

坂井建雄	順天堂大学医学部
佐々木誠一	茨城県立医療大学
中澤 港	群馬大学大学院医学系研究科
吉田 稔	八戸大学人間健康学部
新田裕史	国立環境研究所
本郷哲郎	山梨県環境科学研究所
末吉秀二	吉備国際大学社会学部
門司和彦	総合地球環境学研究所
姫野誠一郎	徳島文理大学薬学部
稲岡 司	佐賀大学農学部
山越 言	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

助教

清水 華
小西祥子 (旧姓:福山) 2007.4-

特任助教

蔣 宏偉 -2009.3

特任研究員

田所聖志 2008.12-

特別研究員 (PD)

卯田宗平 2008.4-

事務補佐員

松本千恵 -2008.3
青柳珠海 -2008.4

藤森美佳 2008.4-2009.3
平林尚子 2008.4-

大学院生

Linda Dewanti	-2009.3	博士課程
Rajendra Prasad Parajuli	2007.4-	博士課程
新城梨奈子	-2008.3	修士課程
	2008.4-	博士課程
Cindy Chia-Jung Chen	2007.4-2009.3	修士課程
	2009.4-	博士課程
Nayar Sultana	2007.4-2009.3	修士課程
	2009.4-	博士課程
水上知広	-2008.3	修士課程
柴田敏幸	-2008.3	修士課程
松本エミリールイーズ明子	-2008.3	修士課程
Erica Takane	2007.4-2009.3	修士課程
吉田奈穂	2007.4-2009.3	修士課程
井上陽介	2008.4-	修士課程
加賀美英子	2008.4-	修士課程
小林紗弥香	2008.4-	修士課程

客員研究員

A.B.M. Rafiqul Islam -2008.6
杉本記久恵
吉澤剛士 2009.2-